



人生100年時代の健康管理
桐生大学 桐生大学短期大学部副学長 山科 章

【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

人生100年時代の健康管理
前々回は口腔(こうくう)機能を保つことが重要であり、口腔機能の評価法には七つの

【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

⑱ 口腔機能トレーニングをしましょう

項目があることを紹介しました。また、前回はその中の一つの「舌口唇運動機能」を取り上げ、「パ」「タ」「カ」の単音節をそれぞれ5秒間、素早く、繰り返し発音し、1秒当たり2回の発音回数で評価する

は、誤嚥性肺炎の原因の一つといわれる声帯委縮の予防と嚥下運動の衰えを防ぐための「のどピコ体操」を提唱されています(60歳から始める「のどピコ体操」PHIP研究所出版)。「のどピコ体操」で真声の併用を勧められています。喉仏に指をあてて裏声を出してみてください。のみ込むときと同じように喉仏が上に動き、口蓋垂(こうがいすい)のどちらにも緊張して後ろに反り返るのです。顎の

「タ」は咀嚼(そしゃく)、「カ」は嚥下(えんげ、のみ込み)の機能を反映しますので、「パ」「タ」「カ」が一回、パパパ、とい

は、誤嚥性肺炎の原因の一つといわれる声帯委縮の予防と嚥下運動の衰えを防ぐための「のどピコ体操」を提唱されています(60歳から始める「のどピコ体操」PHIP研究所出版)。「のどピコ体操」で真声の併用を勧められています。喉仏に指をあてて裏声を出してみてください。のみ込むときと同じように喉仏が上に動き、口蓋垂(こうがいすい)のどちらにも緊張して後ろに反り返るのです。顎の

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。

保健・福祉

ワクチン接種

天気を見計えをしました。底に思い入れシャツが一枚。今年は、今年にしまい直し。桐生地区で

群馬県の

疾病名	3週前報告数	2週前報告数	1週前報告数	今週の報告数
インフルエンザ	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	20	10
咽頭結膜熱	17	16	17	24
A群溶連菌咽頭炎	14	16	12	15

群馬県と真夏。り財団は小学生世代を対象として1年度「長寿対策」を募集。加作品を募集。め切りは9月10日。同コンクール。や近所のお年流、経験や体験作品を募集。度は新型コロナウイルス感染症拡大する。し方や考えた